

## 令和2年度新潟市歯科保健推進会議 会議概要

日時：令和3年1月27日（水）

午後5時30分～7時20分

会場：新潟市総合保健医療センター講堂

### 1 出席者

#### 【委員】

荒井委員、上原委員、大滝委員、近藤委員、斎藤委員、佐藤委員、白野委員、  
長谷川雅之委員、長谷川美代委員、本田委員、吉田委員、葭原委員

#### 【事務局】

野島保健衛生部長、伊藤保健所健康増進課長、岩谷医監、渡辺課長補佐、  
藤山主幹、平野主査

#### 【関係課】

地域包括ケア推進課、保険年金課、保育課、保健給食課

#### 【傍聴者】 0名

### 2 議題

- (1) 新潟市生涯歯科保健計画におけるライフステージ毎の主な取組状況
  - ・乳幼児期、園児期学齢期について
  - ・成人期、高齢期、障がい者・要介護者について
- (2) 報告（保健給食課、地域包括ケア推進課）

### 3 概要

議題（1）新潟市生涯歯科保健計画におけるライフステージ毎の主な取組状況

#### ○乳幼児期、園児期学齢期について

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかったなど歯科保健事業への影響は大きかったと思うが、手洗いや飛沫対策などの基本的な感染対策をきちんと行った上で、フッ化物洗口は実施した方がよい。
- ・北区や西蒲区の歯科健診結果がよくない状況だが、理由をどのように考えているか。  
→事務局：区の面積が広いわりに歯科医院数が少ないことが、北区、南区、西蒲区では影響しているのではないかと考えている。また、他の区と比較すると三世帯世帯が多く、祖父母が子どもの世話をすることも多く、おやつの与え方など核家族世帯と食生活が異なることも影響しているのではと思う。
- ・子どもの健康づくりのため、祖父母世代に向けた健康教育が必要ではないか。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で耳鼻科では受診控えがあり、症状が悪化している方がいる。アフターコロナで、今後3年くらいは気を付けてデータをみてほしい。
- ・新型コロナウイルス感染症のワクチン接種をしても、完全に前のような生活様式に戻ると思えない。このような視点で、今後の歯科保健指導もスタイルを考えた方がよい。例えば、学校でGIGAスクール構想をすすめているが、タブレット端末を使用した指導を導入してはどうか。
- ・フッ化物洗口を8月より再開した学校が多い。現場では、洗口液をかがんで吐き出すなど学校歯科医からの注意事項が書かれたポスターを掲示するなど対応しているところがあった。
- ・感染対策で一方向を向いて給食をとることとなったが、そのような状況下でよくかむことや食の楽しさなど児童へどのように伝えていくかが課題。

- ・歯科衛生士会では、毎年度実施している巡回歯科指導が、R2年度は全て中止となったが、独自に希望した学校が7校あり、うち3校において実施したところ。そのほか、東区の区づくり事業で保育園にむし歯予防指導を行った。
- ・この場に出ている意見は、歯科保健だけでなく、食育や健康づくりをすすめる上でも言える内容を含む。対面保健指導でない実施方法をすすめる上で、他職種と連携してツールを作成するいい機会ではないか。

#### ○成人期、高齢期、障がい者・要介護者について

- ・全国調査において、歯周病が全世代にわたり増加していることは問題だと思う。人間ドックに歯科健診を組み込むよう行政や歯科医師会から働きかけてはどうか。
- ・協会けんぽでは中小企業の方の健康診査を実施しており、40歳以上の健康診査は義務となる。被保険者は100%の受診となるが、被扶養の家族は約3割の受診状況。成人歯科健診の被保険者と被扶養者の受診割合は算出しているのか。  
→事務局：職業や被扶養者区分などの属性は確認していないため分からない。
- ・訪問歯科健診を実施している歯科医療機関数は減少しているが、新潟県歯科医療実態調査によると実施件数の状況は増加している。訪問歯科を実施する場合、器材を揃えることが大変で、16km圏内の診療のしぼりや歯科医師の高齢化もあるため、目標値は医院数の増加より件数の増加の方がいいと思う。
- ・資料7の企業向けアンケート結果より、企業への働きかけには助成金か物品提供が有効な支援になる。横浜市のように、健診を実施した場合、入札時の加点になるなど、インセンティブ制度を活用したものにしないと歯科保健はすすまないのではないか。
- ・禁煙指導については、薬剤師会も積極的に推進しており、医療機関を受診するより、薬局の方が行きやすい場所だと思うので、薬局にも禁煙啓発のパンフレット等を置くのはどうか。
- ・若い人ほど自分の健康を考える機会は、健診の時だけとなりがち。無関心層に向け、自身の健康を考える機会を作れないか検討してほしい。
- ・働きながら子育てをしていると、歯科に予約しなければならいと思っても腰が重い。歯科は予約しなければならいいため、受診しづらい。
- ・歯科医院への受診はハードルが高く、歯周病と糖尿病と関連があると分かっているにもかかわらず受診しない。薬局など多くの人が利用する場を活用して、歯科保健について啓発していくとよい。

#### 議題（2）報告

##### 【保健給食課】

- ・日本学校歯科医会の事業である生きる力を育む歯・口の健康づくり推進事業にR3、4年度の推進校として岩室小学校を推薦した。研究発表等を通して、この取り組みを市内に広める機会にしたいと考えている。

##### 【地域包括ケア推進課】

- ・昨年度よりフレイル予防事業を開始し、フレイルチェックを3区6圏域で実施しており、R3年度は2区7圏域を拡大し、計5区13圏域で実施する。地域のボランティアの協力により実施しており、いずれは全区で実施する予定。
- ・現在、地域包括支援センターは、日常圏域ごとの29地域に設置しているが、高齢化が進んでいることと、高齢者人口率が地域により異なる。そのため、来年度の第8期地域包括ケア計画施行に伴い、日常圏域を見直し、高齢者人口率の高い坂井輪圏域を分割し、新たに1か所地域包括支援センターを設置する方向で検討している。

**【配布資料】**

- ・ 次第、座席表、正誤表等
- ・ 新潟市生涯歯科保健計画（第5次）冊子及び概要
- ・ 資料1：令和2年度新潟市歯科保健推進会議委員一覧
- ・ 資料2：新潟市歯科保健推進会議運営要綱
- ・ 資料3：新潟市生涯歯科保健計画（第5次）評価指標及び現状について
- ・ 資料4：新潟市生涯歯科保健計画におけるライフステージ毎の主な取組状況
- ・ 資料5：主な評価指標データの年度推移
- ・ 資料6：令和2年度健康づくりに関する啓発事業における歯科の取組
- ・ 資料7：歯と口の健康づくりに関するアンケート調査について
- ・ 資料8：新潟市お口の健康長寿健診について